

PACK ON

No.11

会長

舟田和幸

副会長

佐藤正和

高須賀博久

幹事

定方五月

中山みのり

島 榮

藤田 勝

横山美子

この度、平成十五年度の定期総会において、会長に選任されました。あらゆる面において力不足な私が会長の重責を遂行できるか不安で一杯でございますが、皆様のご協力を得て精一杯頑張る所存でございます。何卒よろしくお願い申し上げます。

岡山細胞検査士会は平成七年三月に発足し、私で四代目の会長となります。発足当時よりワークショップ等を開催し、細胞検査士の技術の向上を目指して参りました。今日の岡山県の細胞検査士のレベルは高い位置にあると考えております。これも、歴代会長と役員の方々の賜物と、深く敬意を表す次第です。今後の活動も従来の活動方針を踏襲し、学術部活動および精度管理事業を柱とし、更なる発展を目指して、体制の充実を図りたいと考えております。さらに、今日の情報公開の時代、広報部活動の充実やリアルタイムの情報交換の場としてホームページを活用していきたいと思っております。

平成十五年半ばには、日本臨床細胞学会が任意団体から法人格を有する学術団体『特定非営利活動法人(NPO: Non Profit Organization)日本臨床細胞学会』となりましたが、我々細胞検査士は今まで通り、技師会員ないし正会員として学会活動が可能です。また、細胞診検査そのものは衰退することではなく、今後その重要性はより増すことと思っておりますが、一方では細胞検査士の細胞診領域における法的責任問題も浮上してきています。

浅学非才の身ですが、与えられた職務を全うすべく、スタッフとともに全力で邁進したいと思いますので、会員の皆様のご理解とご協力をお願いします。

岡山細胞検査士会会長 舟田和幸



他個紹介



リレー

岡山済生会総合病院・中央検査科
宇高 千恵子 さん



「荒梅雨や一気にすぎ終ふ自己
拜儀」。これは宇高千恵子さん（先
輩でおられますが、さん付けでお
許してください）の最近の秀句です。
皆様はこの句を読まれてどのよ
うに感じられますか。「荒梅雨」
とは、シトシトと降る雨でなく、
時には雷が鳴り、時には稲妻が光
っている様子が想像されます。そ
の中で自己を心深く、また厳しく
見つめ、評価しておられる姿勢が
感じられると思います。この句は
宇高さんご自身をよく表されて
いる句だと思ひまして、ご紹介さ

せていただきました。

宇高さんは私の三年先輩で、
お付き合いもかれこれ四〇年近
く、いろいろな面でご指導をいた
だいております。仕事には大変厳
しい方ですが、ご自分に対しても
厳しい方です。仕事・家庭・主婦
を熟し、以前には学会発表もどん
どんなさっておられました。検査
に対する総合的で強固な基盤を
持つておられる点に、いつも尊敬
の念を抱かれます。また、文化
面にも造詣が深く、陶芸、絵画、
音楽、読書などについても興味を持
つておられます。ゆつたりとした
落ち着いた、教養の深さがありあ
りと感じとることができるとし
よう。

で細胞検査士になったことか
し。本当に有難いこと。ここ
で改めて先生方、細胞検査士の皆
様に心より御礼申し上げます。あ
りがとうございました。今でもあ
の試験の苦しさは忘れませんが、
皆様との交流が広がったことは
大変嬉しいことです。岡山細胞検
査士の方々は、一芸一芸と秀でた
方々が多く、本当にユニークな
方々の会だと思います。検査を取り
巻く状況は、見るもの聞くもの厳
しいものばかりですが、これから
も仕事には厳しく、また時には
飄々として、肝つ玉の太い会であ
つてほしいと思います。

私も定年までもう少しありま
すが、無事定年を迎えた時の開放
感はどうだろうかと思ひ巡らし
ております。それほど毎日の仕事
への重圧感（足掻きも感じておら
れることと思いますが）大きなも
のがあります。この重圧感を少し
でも和らげる要は、お互いの信頼
感、相互交流にあるのではないで
しょうか。それを実行してください
っている岡山細胞検査士会に感
謝申し上げますとともに、これか
らもうどうぞよろしくお願ひ申し
上げます。

《本人からの一言》

(By 延堂裕子)

私は延堂さんより数年前歳上
ですが、この歳になって上も下もな
いような気がしています。延堂さ
んは正義感にあふれ、本当にしっ
かりものでいらつしやるのに、ポ
ケツとした私を齒の浮くように
書いてくださつて穴があつたら
入りたいです（音楽、絵画なんて
恥かしいです。器作りは定年後の
楽しみにしています）。延堂さん
のご信頼にこたえられなくてご
めんなさい。

わたしはいえ、横着者で
何もかも中途半端で、三度の食事
がなくても素敵な小説を読んで
いればとつても幸せです。読みた
い本を買つていただけと字が小さ
くて今は失敗だったかな！

あの苦しかった細胞検査士の
試験のことを考えれば、苦しさを

なんてなんのその…。これからもがんばります。老後もいろいろ情報交換して楽しく過ごしていきたいですね。よろしくお願ひします。

社会保険岡山健康管理センター
検査室

延堂 裕子 さん



細胞などの知識がまったくなかった私。そんな私が「勉強したい」と、ふと漏らしたのは延堂さんのおかげでした。

彼女は結婚、子育てのためにしばらく引退されていました。新しくできた現在の職場に再就職され、牽引者としてがんばって

おられました。また細胞診の勉強も始められていましたので、私も一緒にさせていただきました。私

はといえば、新しい知識を学ぶのは新しい世界が広がって楽しかったのですが、右から左へと抜けていく思い。それは長い苦しい道のりでした。そして延堂さんには最後まで応援してもらいました。

延堂さんは細胞診の資格を取られてから超音波へとトライされ、日々活躍されています。両検査とも精神的にはかなりきついものがありますから、ストレスをためないように気分転換してくださいね。

彼女にはいろいろな趣味があるようです（お花は教授級、お料理は先生級、歌もうまいし）が、俳句もその一つで、現在、いっしょにやっています。俳句では私のほうが少し先輩なので、季節などはちよつとだけ知っているかな（？）と、密かに思っていました。最近の彼女は「えっ」と言うようなすばらしい句を発表されます。ずっと以前の句ですが、ご紹介します。

「縫ひの 春日にかさす 針の穴」
ひろこ

この句を見たとき、私は上村松園の絵を思い浮かべました。女手一つで松園を育てたお母さんに感謝して描いたという絵——夕暮れの明るい一瞬を惜しんで内職の着物の仕立てのために針穴に糸を通しての美しい絵——です。延堂さんのこの句は、それに通じるものがあります。家族のためにせっせと縫い物をして

いるお母さん…、使い捨ての時代昔は物を大切にしていたなあ…、私たちが忘れていた日本の原風景がこの句に濃縮されているような気がします。

延堂さん、転職してからもずっと（ポケ防止のためにも）、俳句、がんばりましょうね。

最後になりましたが、勉強する機会に恵まれなかった私たちに、理論的な裏づけの講義とスクリーニングを懇切丁寧に指導してくださった先輩の検査士の方々に深く感謝しますとともに、この会のますますの発展をお祈り申し上げます。

(By 宇高千恵子)
《本人からの一言》

過分なご紹介をいただきありがたう（さ）さいました。唯々お恥ずかしい限りですし、欠点の多い私を良い側面からだけ見ていただき、面映い気持ちでございませう。

宇高様とは、共感できる部分を共有できるという点で、本当に心置きなくお付き合いさせていただけいております。年代も近いせいか、価値観が同じように思われます。

時には母のように、時には姉のように、また時には友人のように、至らない私をリードしてください。ことに心深く感謝いたしております。人生も後半に差し掛かっている私ですが、やりたいことはたくさんあります。元気で過ごしてくることができたことへの感謝を、どのような形になるかは別として、社会へお返しできればと思っています。宇高様とともにいろいろと模索しながら、一緒に過ごしていけることを心強く思っている昨今でございませう。どうぞこれからもご指導よろしくお願ひいたします。

Paradise in the society

学会天国

演題 14

M. FUJITA PRESENTS

ある学会の業務室で、シンポジウム会場の設営をおまじしたまひのこと

シンポジウム準備こんなをれが…

特別発言
白岡金教授
●山▲男 先生

なまな、みんなのまじりましょう

問題発言
○×病院
■田★彦 先生

どうせなまじりなれも！

爆弾発言
▲口藤院
◎川★郎 先生

勇気ある学芸長、一度おつてみませんか？

編集 ファイル 削除 ヘルプ



くう



くう



くう



くう



のむ



のむ



のむ



??



!!



終了



http://www.ippaiyakka.ne.jp

コンピュータ

データ・ファイル

Vol. 6

それでもフリーン
タ、買いますか。



パソコンオタクK・プロフィール

自宅にパソコンを10台以上も置いたり、家庭内LANやISDNでひとり悦に入っている変わり者。筋金ならぬ、針金入りの肩を持つ、雨にも風にもトラックにも負けない男。

ワンダーランド

◆◆◆パソコンオタクKのメール・アドレス: hkoba@med.kawasaki-n.ac.jp◆◆◆

とうとう原稿依頼が無くなつたかなと思つて気を抜いていたら、締め切り間際にやっぱり頼まれて、「まかしとき」と言つたものの指が進まず苦しんでいる今日この頃ですが、みなさんいかがお過ごしでしょう。

最近の流行語で「ユビキタス」という言葉を目にします。何もこの言葉、あんまり原稿が進まないので仕事中にまで考えていたらメスで「指切つたス」というのはありません(す、すいません、ちよつとだけ笑つてください)。ITの次はこの言葉がどうも流行りそうなので解説しておきます。

ユビキタス(ubiquitous)とは、ラテン語で「料理中などに刃物で指を切ること」ではなく「結構しつこい」、同時に、「いたるところに存在する」を意味します。これを一九九〇年代に米ゼロックスのパロアルト研究所のマーク・ワイザー氏が新しい意味で提唱し、コンピュータが、その存在を意識させない形で生活環境に溶け込んでいる、という姿が想定

されています。つまり、インビジブル(目に見えない)コンピュータです。すでに私達は炊飯器や体温計など、多数の見えないコンピュータに囲まれた環境のなかで生活しています。それらの機器が飛躍的に変貌するのは、内蔵されたコンピュータがネットワークを形成したときである!と、これが現在のユビキタスのようです。

ニュースによると人体埋込みICとスキヤナが取引されているようで、これもまた、ユビキタスの一端と考えられます。一昔前のSFが現実化し、このまま行くトプライバシーはどこへ行くのやら、チョット恐怖を感じます。前回、猫も杓子もブロードバンドと書きましたが、やがて猫にも杓子にもユビキタスが組み込まれる日が近そうです。

ところで話は変わりますが、今年こそはプリンタを買換えようと思つています(と言いつつ、はや何年)。年賀状の季節になるとフツフツとこの思いがわき上がってきますが、なぜかちようど

その時期にインクやリボンのストックが大量にあつて、「これが無くなるまで今年は我慢するか」で購入を伸ばしていましたが、よく考えると、①発売して時間が経ち製品ラインからはずれる、②売れなくなった消耗品の在庫処分セールがある、③よくパソコン店に行くのでそのセールに遭遇する、④こりやーしめたで〜と大量に買ってしまつ、または同機種を買い換えた人から不要になつた消耗品が手に入る、④日頃、それほどカラー印刷が必要でないので消耗品が減らない、⑤最新機種との印字の見劣りからますます印字する機会が減る、⑥年賀状の時期を迎える、…と、この「法則Ⅰ」が成立する間はなかなか買えそうにありません。

たとえ買えるようになっても、①毎年一〇月付近で新モデルの発表がある、②新モデルが出ると旧モデルが値崩れする、③もつとも安くなるのは年末である、④新モデルは初期不良やインクが入り手困難なことが多い。ゆえに「故障が少なく、インクも手に入りや

すく、さほど新モデルと見劣りしない旧モデルを年末ぎりぎりに買うのが良い」と他の人には奨めているものの、自分が買うとなつたら、そりやー最新モデルを買つて自慢したい、⑤年末が近づくとつれ、新モデル購入者の評価やカタログスペックを調べれば調べるほど不安になる要素が必ず少教見つかり、旧モデルの方がやっぱりいいかなと考え出す、⑥最終的に④と⑤の間で無限ループにはまり抜け出せなくなる。とまあ、この「法則Ⅱ」が生じている間に年賀状時期が過ぎて翌年に持ち越しとなります。

こんな時は憂き晴らしにパソコンショップに行きましょう。あらん限りの知識を詰め込み、念のためプリンタ売場のカタログで自分の記憶を確認したら、買いたい衝動を押さえ、いったんその場を離れて頭を冷やします。再度売場に戻って遠目にプリンタを眺めていると、大抵は呼びもしない店員が満面笑顔で「プリンタをお探ですか?」と声をかけてきます。「ええ、まあ」と答えると、

「これでもかといわんばかりに説明してくれませう。ひとしきり説明が済んで、「このようなく」に使われますか?」と言ってくるので「いろいろですね」と答えると、大抵はCanon製のプリンタを奨めてきます。「速いし、奇麗でしょう!」と誇らしげに言ってくるのですが、仕入れ値の関係で店側からCanonを売るように指導されていることは知っていますので、「そうですね」と感心したように答えるときは、こりや素人のいいカモが来たときと気をよくした店員は次のCanonと較べて攻撃を仕掛けてきます。「しめたっ!」と思つたのはこつちも同じで、「Canonは、それなりに奇麗なんです。Canonがすくく遅くて印字コストが掛かる上にCaOmは色の持ちが二十五年とすばらしい」と言うので、「あつ、このカタログをよく見ると」と、すかさず測定の違いが誤った解釈をさせていることを指摘します。店員は、「ちよつとお待ちください、メーカーに確認を」とどっこかに消え帰ってくるなり「お客様の言う通りでした。すかさず「また見つけたんですけど、これについては?」。こうして、どんどん指摘していくと、その度に消えては謝る繰り返しとなります。最後に印字サンプルをよく見比べてうえで、「ところでCanonの奇麗な印字サンプルを見せてください。このつぶつぶの失敗じゃないやつ」と聞くと、もう勘弁してくれと言いたげに「ちよつと聞いてきます」と言つた店員は帰つてこなくなりませう。タチの悪い客に捕まった気の毒な店員を残して、小心者のあなたは顔を覚えられないうちこそそくさと帰つた方がいいでしょう(次回のために。へっへっへ)。

参考までに今までのプリンタ入手歴は、カレードット×1、熱転写×1、レーザー×2、インクジェット×1、マイクrodドライ×1の計六台で、そのうち四台は未だ現役で活躍中です。この四台のうち三台はCanon製で、実をいうと私の好きなメーカーです。ところで先日、PCショップのプリンタ売場に行ってきました。

なんでもQ&A

さあ、編集部の一部(?)で呆れられているQ&Aコーナーです。今回の悩める子羊は…、そのあなたたちよと待ちなさいつて。Q. パソコンを長い間使っていると、もはやキーボードは体の一部、当然の「とながらフラインドタツ子なんか簡単にできますよね?」 A. できません。でも、マウスなら顔の一部です。…そりや「口やろ」。おあとがよろしいよつで。

「プリンタをお探ですか?」と店員に聞かれるまではいつても通りだつたのですが、「ええ、まあ」と振り向いたとたん、その店員は何か過去のいや々な事を思い出したかのよう、慌てていなくなりませう。いや〜不思議、不思議。奇麗な印字を求めて、果てしない欲求を、果てしある予算で今日も行く…!

知っていれば役立つ！ 細胞所見ワンポイント講座 ③

《 印環細胞様形態を示す腫瘍の鑑別 》

印環細胞様形態を示す悪性リンパ腫は、1978年 Van den Tweel らにより、免疫グロブリンの封入体を有する濾胞性リンパ腫7例が報告された²⁾。同年 Kim らは、同様な封入体を認めた濾胞性リンパ腫7例を報告し、それらを signet ring cell lymphoma と命名したり。現在までに40例を超す症例が報告されている。これらの症例は大部分が B 細胞性悪性リンパ腫であるが、T 細胞性悪性リンパ腫でも同様の形態を示すことが報告されている。

これら印環細胞様形態を示す悪性リンパ腫細胞の明確な定義はなされてないが、報告例では印環細胞様形態を示す悪性リンパ腫細胞を多く含むものから少数のみ含むものまで多様である。

印環細胞様を呈する封入体には、2つの形態がある³⁾。すなわち、第1の形態は「好酸性で均一の球状構造を示し、PAS 反応陽性の境界明瞭な Russell body 様封入体を含有するもの」で、これらは電顕的に粗面小胞体内に沈着した免疫グロブリンで構成され、大部分は IgM を含有している。第2の形態は「電顕的に円形空胞状を示し、PAS 反応は陰性で、電顕的には明確に境された空胞内に少数の結晶物や小囊胞が見られるもの」で、大部分が封入体周囲限界膜に IgG を認める³⁾。

印環細胞様形態を示す悪性リンパ腫

細胞は、その基礎となる組織型の悪性リンパ腫とはほぼ同様の予後を呈するため、印環細胞様形態を示す悪性リンパ腫細胞として分類する必要はないとされている。しかし、印環細胞様形態を示す他の腫瘍と比較すると、その予後は格段に良く、細胞学的に正確な診断が得られれば治療および予後に貢献できるものと考えられる。それゆえに、この細胞を明確に理解し、腺癌や他の印環細胞様形態を示す腫瘍と鑑別診断することは、誤った手術や異なった治療を回避することができるので大切であると考えられる。

細胞診断学的に、印環細胞様形態を示す悪性リンパ腫細胞と鑑別を要する疾患としては、腺癌(特に印環細胞癌)、脂肪肉腫、悪性黒色腫などが考えられる(表1)⁴⁾。腺癌は、乳頭状、球状構造といった3次元構造の細胞の集団で出現する。核は偏在し、核縁は円滑である。Papanicolaou 染色では、細胞質がライト緑好染性で、粘液は黄色調もしくは無染色である。PAS 反応、アルシアン青、ムチカルミンなどで細胞質に滴状、あるいは細胞質全体に粘液が染め出されるといった特徴をもつ^{4, 5)}。

一般的な悪性リンパ腫細胞の特徴は、集塊をつくらず、細胞質に乏しい細胞が孤立散在性に出現し、核不整で PAS 反応は陰性、しばしば細胞質内空胞がみられる。しかし、核を辺縁に押しやる PAS

反応陽性の封入体を有する細胞がみられた場合、特に印環細胞型の腺癌との鑑別が最も重要となる。

ギムザ染色で印環細胞様形態を示し孤立散在性に出現する細胞は、印環細胞癌と鑑別することがかなり困難である。しかし、Papanicolaou 染色で細胞質内にオレンジ G に染まる均一無構造の球状形態を呈する封入体、つまり Russell body 様封入体が確認でき、さらに細胞転写等で免疫細胞学的に染色をすることにより印環細胞様の細胞質内の物質が確定できれば、それは診断への「カギ」となるものと考えられる。また、悪性リンパ腫でもこのような亜型があることを念頭におき、診断を行うことが必要と考えられる。

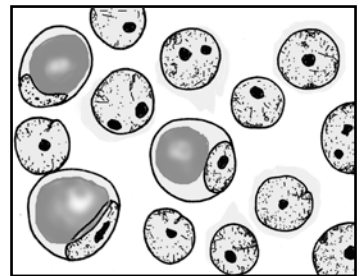


表1 印環細胞様形態を呈する腫瘍の鑑別

診断	細胞所見	特殊染色					
		PAS	L26	CK	OH	S100	HMB
印環細胞癌	単細胞・3次元集団	+	-	+	-	-	-
脂肪肉腫	脂肪芽細胞	-	-	-	+	+	-
悪性黒色腫	メラニン顆粒	-	-	-	-	+	+
リンパ腫	好酸性封入体	+	+	-	-	-	-

CK: cytokeratin, OH: Oil red O HMB: HMB45 Acta Cytologica 1997 24:2

(川崎医科大学附属病院病理科 島 榮)

【文献】

- Kim.H., Dorfman.R.F., Rappaport.H.: Signet-ring cell lymphoma: A rare morphologic and functional expression of nodular (follicular) lymphoma. Am J Surg Pathol 1978; 2: 119-132
- Van den Tweel.J.G., Taylor.G.R., Rarker.J.W., et al.: Immunoglobulin inclusions in non-Hodgkin's lymphoma. Am J clinic Pathol 1978; 69: 306-313
- Eyden.B.P., Cross.P.A., Harris.M.: The ultrastructure of signet-ring cell non-Hodgkin's lymphoma. Virchows Archiv A Pathol Anant 1990; 417: 395-404
- Cangiarella.J., Weg.N., Symmans.W.F., et al.: Aspiration cytology of signet-ring cell lymphoma: A case report. Acta Cytologica 1997; 41: 1828-1832
- 島 榮, 定平吉都: 印環細胞様形態を呈する悪性リンパ腫の1例について—印環細胞を示す他の腫瘍との鑑別— 日臨細胞岡山支部会誌投稿中

この一冊

ちょっと



読んで見ませんが

第7回

ミトコンドリアはどこからきたか 生命四〇億年を遡る

豊島裕祥著 NIKKONブックス(二〇〇一年) 定価二二〇〇円

ミトコンドリアに関しては、多くの書物が世に送り出されている。中でも瀬名秀明氏が書いた「パラサイト・イブ」は、第二回日本ホラー小説大賞受賞作品で、その後映画化されたこともあり、みなさまの知っていると思う。

細胞診断学的にも、ミトコンドリアを有する細胞質は特徴的な所見を呈することが知られている。すなわち、細胞質内に多数の微細、あるいは粗な顆粒状物を有する細胞として観察されるわけである。

細胞質が顆粒状になる原因は、種々ある。たとえば、顆粒細胞腫ではライソソーム、好酸性細胞腫ではミトコンドリア、臍房細胞癌ではチモーゲン顆粒が、光学顕微鏡で細胞質内に微細顆粒状物質として認められ、個々の粒子として識別されるよりも、砂浜の砂がしめってキラキラ輝くように認められる。

細胞質内にミトコンドリアを多く含む細胞は、好酸性細胞

(oncoctye)と呼ばれている。

oncoctyeの由来はギリシャ語(arkh)g, onkousitha, ɔ, 意味はswellに由来したものであると言われている。このような細胞質内のミトコンドリアは、「我々の身体の中の細胞中に二〇億年前に入り込んだ無数の細菌の祖先が居候し蠢いており、今この時点で私が呼吸している。この居候たちが「細胞内共生説」の提唱者、リン・マークリス教授の言葉にあるように『酸素』を欲しがっているからだ——と考えられている。

二〇億年も前に細胞に入り込んだ、たった一個の小さな細菌が分裂・増殖しつづけ、われわれの身体だけでなくあらゆる生物の細胞内に入り込み、今でも、もの凄い勢いで分裂・増殖し、世界を拡大しつづけている。その居候の媒体が、細胞内にある小さなビーナツ形をした顆粒「ミトコンドリア」である。

ミトコンドリアは本当に居候生活を送っているのだろうか。こ

宮尾行雄のウンチク三昧



トロイの木馬でおなじみのトロイア戦争には、多くの英雄や美女が登場します。自動車でおなじみの「オデュッセウス」、かかと以外には弱点がない「アキレス」、世界最高の美女「アフロディーテ(ビーナス)」等々。

世界で最初の叙事詩イリアス(作者ホメロス)には、10年間に及ぶトロイア戦争の最後の2ヶ月間が描かれています。その中心人物はトロイの総大将「ヘクトル」で、彼は無敵のアキレスによって殺されます。

ヘクトルの愛妻の名を「アンドロマケ」といいますが、彼女はヘクトルが戦いに出ようとするのを止めて「あなたはひどい方、その勇気があなたの命取りになるかも知れぬというのに…、私の7人の兄弟は皆アキレスに殺されました…、ですからヘクトル、あなたはわたしにとって父であり母であり、また兄であるとともに、あなたはわた

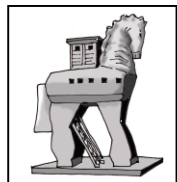
◆ウンチクの種

【トロイア戦争】ホメロスの詩「イリアス」にある、古代ギリシアの半ば伝説的な戦争。スパルタの王妃ヘレネがトロイアの王子パリスに誘拐されたことに原因し、王妃を奪還するため、アガメムノンを総大将としてギリシアの王侯が10年間の攻囲の後、木馬に兵を潜ませる奇計を用いてトロイアを破壊したという。(広辞苑第三版より)

●アンドロマケを覚えていますか

しの頼もしい夫なのです)(松平千秋訳)と訴えます。ここまででは、細胞診と何ら無関係なのですが、「アンドロマケ」という名前をどこかで聞かれたことはありませんか?。去る9月28日の岡山細胞検査士会講演会「パパニコラウの生涯」で誰かが話していたパパニコラウ先生の奥さんの名前がアンドロマケでしたね。…よかった、思い出していただけようですね。

「アンドロマケ」の意味は「男たちと戦う女」なのですが、アメリカでなかなか細胞診が周囲から理解されない時代にもパパニコラウ先生を助けた彼女らしい名前だと思いませんか。しかし、彼女のアメリカ名は「マリー」でした。やはり、ギリシア名の「アンドロマケ」の方が素敵ですね。



『J・S・バッハ』(講談社現代新書)

著者: 磯山雅(いそやま ただし)

定価: 本体700円

深まる秋、皆様にはいかがお過ごしでしょうか?

今回は芸術の秋にふさわしく、音楽の父、バッハの音楽と人を伝える素敵な一冊、講談社現代新書『J. S. バッハ』を紹介させていただきます。

著者である磯山雅氏は、東京大学文学部美学芸術学課程卒業、同大学院、ミュンヘン大学留学を経て、国立音楽大学助教授、NHK文化センター、市民講座等でも広く活躍されているバッハ研究者です。

「クラシック音楽は好きだがバッハはどうも親しみにくい、と思っている人がまだまだ多いようだ。…この本は、そんなバッハ敬遠派の方に、バッハの良さを知っていただくために書いた」と磯山氏。このため、バッハの人物や生活、職場や家庭の話題にかなりのページを割き、名作入門の章も設けてあります。

氏は、現存する多くのバッハ自筆の楽譜や手紙、愛用した品々等を通して人間バッハを生き生きと蘇らせています。例えば、バッハは二度結婚し、20人の子供を設けたことはご存知の方も多いかと思いますが、大変頑固であり、また、お金に関してかなり細かい人であったことなど意外な側面も記録から明らかになっています。

また、バッハの遺品の中に、錫製のジョッキ4点、コーヒー・ポットやカップ、ワイングラス等があり、「バッハはビール党であったかも?」と自身ビール党の磯山氏は期待します。ちなみに、<農民カンタータ>の中ではビールは農民が飲み、ワインは裕福な領主の飲み物として対比されているとのこと。さらに、同じくバッハの作品<コーヒー・カンタータ>で、コーヒーにとりつかれた娘のリースヒエンが「コーヒーってなんておいしいんでしょう。マスカット・ワインよりなおソフトだわ」と歌うくだりがあり、この、コーヒー・ポットやカップ類こそバッハがコーヒー党であった証拠! …そんな推理もまた愉快な話題のひとつです。さらに、それらの背景にある、バッハの生きた1700年代のドイツの生活ぶりも窺えて興味をそそられます。

「しかし」と、磯山氏は続けます。「私の目的は、バッハの日常的な姿を描き出すところにあるのではない。この本を通じて強調したいのは、バッハの<超える>発想の豊かさである。バッハという「頑固」というイメージがつきまといがちで、伝記の側面からすればそれもまったくその通りなのであるが、反面バッハほど、視野が多角的で視点の切替が自在な人はいなかった。バッハは、音楽にこの上なく厳しくありながら、同時に、音楽を楽々と越えてしまう人である。この<超える>発想に学ぶとすれば、われわれの生も、実り豊かに開けるのではないだろうか」

この本のクライマックスは、バッハ音楽の真髄を私のような素人にもいづらかでも感じ取れるよう、できるだけ平易に、しかし、決して妥協の無い分析と解説で展開させていくところでしょう。耳慣れない専門用語も飛び交います。専門性の高い部分ではやや抵抗を感じる方もあるかもしれませんが、氏自身も述べているとおり、その場合は細部を飛ばし、大筋のみをつかんでいけばよいでしょう。「バッハに惚れ込み、バッハに傾倒し、バッハから多くの貴重なことを学ぶとごらまで歩んできた」磯山氏にして初めて語ることができる。命溢れる『BACH』です。

最後の章では、「なんといっても作品にふれることが肝心!」と、主な作品20曲の紹介と著者推薦のCD1枚ずつがあげられています。

「2003年、今年もよく働いたな」と、思わず肩や首の筋肉をのみほぐしているあなた。週末のひととき、コーヒーの香りを楽しみつつ、17世紀のドイツにタイムスリップ…バッハの音楽の世界に浸ってみられてはいかがでしょう。(by K子)

四の五の言わずに
読んでみられい!

のことについて黒岩常祥氏は「ミトコンドリアはどこからきたのか 生命四〇億年の遡る」の著書の中に、次ように記されている。

——ミトコンドリアが細胞核を支配したのか、支配されたのかの問題に関して、二次細胞内共生によって生じた生物を考える必要がある。共生体の真核生物(紅藻、緑藻)が宿主の真核生物に共生すると、まず最初に共生体のミトコンドリアが、続いて細胞核が消されていく。このことは、宿主のゲノムにとって必要がな

いものに対しては、いつでも消すことのできる機構を作動させるということである。一方、マリア原虫やトキソプラズマでは、ミトコンドリアのゲノムサイズが六キログラム塩基対と著しく減っている。また、ハイドロゲノゾームのように、かつてミトコンドリアであったらしいが、DNAをもたない細胞内小器官もある。さらに、酵母や動物培養細胞では、ミトコンドリアをもたなくても特定環境下では生存できる。しかし、動物細胞のミトコンドリアのゲノ

ムサイズは約十六キログラム塩基対である。細胞核ゲノムをこれだけミトコンドリア内に残している意味は何であろうか。また、マーグリス教授のいう、ミトコンドリアは細胞内に入りこんだ「居候たち」のようなものではなく、それどころか、地主(我々の個々の体細胞)の厳しいATPの取り立てに喘ぐ、荘園から独立できない小作人か奴隷のように考えられる。

ミトコンドリアは母性遺伝すると考えられている。この現象は、まず精子の形成過程でミトコンドリアDNAの選択的分解が起こり、ミトコンドリアDNAを失ったミトコンドリアがユビキチンのターゲットとなり、ユビキチン化され、プロテアソームのようなタンパク質分解系とリソソームによって分解される生化学的反応の結果として起こるといふことである。こうして、我々の細胞小器官のうちミトコンドリアだけが母性遺伝するのである。それゆえに、ユビキチン化されるタンパク質とミトコンドリアDNA

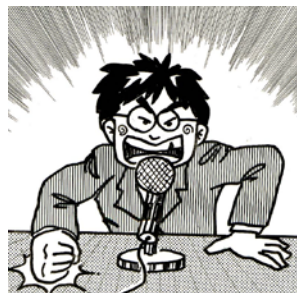
Aとの関係の解明が重要な鍵となるだろう。

本書は「生命四〇億年を遡る」と題して、ミトコンドリアDNAで探る人類の起源—ミトコンドリア・イブやアルツハイマー病とミトコンドリアDNA、ミトコンドリア脳筋症、糖尿病とミトコンドリアDNA、細胞の「自爆」アポトーシスといった、大変興味深い項目にもおよんでおり、病理細胞診断学分野でも役に立つ本と考えられる。ぜひ、細胞検査士の方々にも一読をお勧めしたい。

大講釈

●超個人的音楽論

Presented by
M.Fujita



青春歌年鑑・七〇年代超個人的ベスト四〇 パート I

「どいついつわけたか昭和三〇年代ブーム」なんだぞうだ。プリキのおもちゃ、懐かしのテレビアニメ、レトロなデザインの電気製品からラーメン屋まで、何はともあれ昭和三〇年代と銘打ちさえすれば、「ちよとオシャレかな、みたいな」という風潮である。とすれば、どいつ考えても次に来るのは昭和四〇年代ブーム」である。……と、そんな時流を見越してかどろつかは知らないが、数年前に発売されたある企画もののCDシリーズが脚光を浴びている。その名を「青春歌年鑑」——「存

知たろうか。

「のCDシリーズ、一九七〇年から一九九〇年までを一年ごとに区切り、各年ディスク二枚にその年のヒット曲三〇曲を収録すなわち、二十一年分では都合六三〇曲が収録されているわけだ。似たような企画は、たぶんこれまでもあったと思う。ではなぜ、「青春歌年鑑」だけが大人気を博すことになったのだろうか。秘密は、どうもその選曲にあるようだ。聞くところによれば、これまでのオムニバス企画では難しいとされた「レコード会社間の

壁」をどうばらばらとすることができた、というのである。とはいっても、選曲者が存在する以上、当然のことながらそこには選曲者の独断と偏見が介在しているのだが、それでも選曲できる範囲が広がった強みか、なかなか心憎いラインナップとなっている。

超個人的音楽論では、七〇年代の青春歌年鑑（一九七〇年〜一九七九年）から超個人的ベスト四〇を選曲して、曲、歌手、時代背景などにつき延々と講釈をたれてみたい。なお、筆者は一九六一年生まれであり、一九七〇年ごろと

いえば小学校高学年、うろ覚えの記憶しかないところも多々あるが、いつもどおり下調べもせずおかまいなしにどんどん書き綴っていくことにする。年代的に、じつ

いは、機会があれば触れてみたいが、個人的には、ついこの間のことと思っているので、今回の企画からは省くことにした。

1. 目覚めの一九七〇年
当時、筆者は九歳（小三）であった。一応「目覚める」と銘打ってはみたものの、この年突然「音楽とはなんぞや」なんてな大それたことを考え始めたわけではな

No.	タイトル	歌手
70-1-1	黒ネコのタンゴ	皆川おさむ
70-1-2	ドリフのズンドコ節	ザ・ドリフターズ
70-1-3	圭子の夢は夜ひらく	藤圭子
70-1-4	噂の女	内山田洋とクールファイブ
70-1-5	手紙	由紀さおり
70-1-6	愛は傷つきやすく	ヒデとロザンナ
70-1-7	今日でお別れ	菅原洋一
70-1-8	京都の恋	渚ゆう子
70-1-9	白い色は恋人の色	ベッツィ&クリス
70-1-10	愛の旅路を	内山田洋とクールファイブ
70-1-11	縁談	辺見マリ
70-1-12	白い蝶のサンバ	森山加代子
70-1-13	あなたならどうする	いしだあゆみ
70-1-14	四つのお願い	ちあきなおみ
70-1-15	違わずに愛して	内山田洋とクールファイブ
70-2-1	新宿の女	藤圭子
70-2-2	X+Y=LOVE	ちあきなおみ
70-2-3	空よ	トワ・エ・モア
70-2-4	女のブルース	藤圭子
70-2-5	くやしいけれど幸せよ	奥村チヨ
70-2-6	老人と子供のポルカ	左ト全とひまわりキティーズ
70-2-7	夜と朝のあいだに	ピーター
70-2-8	ひとり寝の子守唄	加藤登紀子
70-2-9	もう恋なのか	にしきのあきら
70-2-10	土曜の夜何かが起きる	嵐ジュン
70-2-11	白い鳥に乗って	はしだのりひことクライマックス
70-2-12	美しいビーナス	加山雄三
70-2-13	あしたが生まれる	フォーリーブス
70-2-14	喧嘩のあとでくちづけを	いしだあゆみ
70-2-15	ドリフのほんとにほんとにご苦労さん	ザ・ドリフターズ

表 1

があるような気はするわけである。う〜ん、さすがに聴いたことない曲も何曲かあるぞ。「愛の旅路を」、知らんなあ。「白い鳥に乗って」、「これも知らんなあ。「あしたが生まれる」、「これも聴いた」とない。ま、このくらいかな。しゃないやね、小三だったんだから、でも歌手名は全部わかる。ああ、よかった（なにがよかったのかわからんが〜）。

まずはこのラインナップの中から、青春歌年鑑七〇年代超個人的ベスト四〇のうちの何曲かを選抜してみた。

さて、記念すべき第一曲目、「手紙（由紀さおり）」でどうだつ。

この選曲に異議を唱える人はおそらくいないんじゃないかと思うが、この曲、現在もかなり人気があつて、私の周辺でのリサーチによれば、「カラオケに行ったら必ず歌う」という人が何人かいた。「手紙」はなぜ今もって人気があるのか。秘密のひとつはそのコード進行とみて間違いないまい。日本人（私も含めて）、弱いんだよなあ、このパターンに

は、もうちょっと細かいこと言えば、マイナーコードとメジャーコードの展開あるいは配分がいいわけですね。「そりゃいいたい何のこっちゃい」とアタマをかしげてる人を無視してさらに突っ込んだことを言うならば、オリジナル・キーが何だか調べてはないけど、たとえばAマイナーと仮定した場合、途中になにげなくB♭をはさみこむんなさ、作曲の川口真先生、いい仕事をしていらっしやる。

由紀さおりという人は、日本の音楽界においてじつに特異な存在である。近年、童謡、クラシックナンバーなど、実姉・安田祥子とのデュエットで有名なのはご承知のとおり。すなわち、その歌唱スタイルは、声楽寄り、のところが、というわけだ。寄り、なんて言っちゃあ叱られるか〜。この歌唱法は、おそらくデビュー以来一貫したものであつて、その歌唱法に基づいた意味でのクセのなさが「夜明けのスキヤット」「手紙」「生きがい」などの一連のヒット曲を生んだの

だろうと推測される。このような声楽寄りの歌唱法で、しかも歌詞曲の範疇のヒット曲を多く持つ歌手を、由紀さおり以外に私は知らない。その点こそが彼女の特異性であるといえよう。

続いて二曲目、「白い色は恋人の色（ベッツィイ&クリス）」。「存知北山修・加藤和彦コンビによる作品である。言うまでもなく、この曲の売りはハーモニー。でも結構難しいんだ、このハーモニーがどうですか皆さん、挑戦したことありますか。おそらく挑戦して無残に敗れ去った人も多いのではないだろうか。レベリックには、あみんの「待つわ」の低いパートがこなせる人であれば何とかなると思うけど。

この曲のハーモニーで私が個人的に好きなのは、転調してから展開だ。ピーター・ポール&マリーの楽曲を意識した（〜）感じのサブメロが、よりいつそうの爽やかさを醸し出すことに成功している。

ただ、ひとつ疑問なのは、なぜこの歌をあえてベッツィイ&クリスに歌わせたのか、という点である。おそらく日本語がほとんどしゃべれないと思われるこの二人に、カタコトで「白い色は恋人の色」を歌わせた真意とは何だったのか。日本人ではだめだったのか。そのへんの経緯がよくわからない。事情通の方は二報ください。最近、「なごり雪」をはじめとして七〇年代フォークのカバーものが目に付くが、ぼちぼちこの曲もカバーされる可能性大とみた。

んでもって、三曲目、「もう恋なのか（にしきのあきら）」。言わずと知れたスター・にしきのデビュー曲だ。この曲で彼が、この年の日本レコード大賞最優秀新人賞を受賞したことは、記憶に新しいところである（えっ、ぜんぜん新しくないっすか〜）。

おそらくこの選曲には賛否両論あるであろう。いや、むしろ賛よりも否のほうが多いのではないかしら思ったりもするが、いいの、好きなんだから、この曲。なんとなくノスタルジックな気持ちになりませんか、この曲を聴くと。

おそろくこの選曲には賛否両論あるであろう。いや、むしろ賛よりも否のほうが多いのではないかしら思ったりもするが、いいの、好きなんだから、この曲。なんとなくノスタルジックな気持ちになりませんか、この曲を聴くと。

おそろくこの選曲には賛否両論あるであろう。いや、むしろ賛よりも否のほうが多いのではないかしら思ったりもするが、いいの、好きなんだから、この曲。なんとなくノスタルジックな気持ちになりませんか、この曲を聴くと。

ま、「こんな曲、知らん」って方も多いだろうけどな。ところで最近、「にしきのあきら」が「錦野旦」になっちゃったけど、何でだろう？、縁起かつぎですか？、でも読めないよよねえ、「旦」を「あきら」とは。

とりあえず、一九七〇年はこの三曲で締めとしたい。この年は「黒ネコのタンゴ」、「老人と子供のポルカ」の大ヒット、ドリフの躍進（二曲ランクイン〜）など、音楽的には、ややキワモノ系の目立つ年であった。「圭子の夢は夜ひらく」つても、タイトルに自分の名前が入ってるあたり、内容はともかくとして少しキワモノに近いかもしれない（後年、「伊代はまだ十六だから」と、歌詞の中に自分の名前が出てくる楽曲が発表されるのだが、このときにはまだ知る由もない我々であった）。

また、これに対抗するかのようなお色気系路線も目を引く。渚ゆう子、辺見マリ、森山加代子、いしだあゆみ、ちあきなおみ、奥村チヨ、篠ジュンと、なかなかバラ

エテイーに富んだ人選だ。

そんな中、くそ真面目な姿勢を前面に押し出して善戦した内山田洋とクルルファイブの三曲ノミネートは賞賛に値する。一曲くらい今回の超個人的ベスト二〇曲に入れてもよかつたかな、という気もしないではなかつたが、都合により見送った。

二〇歳頃〜一九七一年

筆者は一〇歳、小学四年生になった。思春期の入り口。カタい表現をするならば、心身ともに第一次性徴の発現を見る時期、平たく言っちゃえば、色気づく年頃なわけである。今思い返してみると、色気づいたわたくし、というものの始まりは、なんとなくこのあたりの年代であったようだ。当時、菊谷子主演「好き〜すき!! 魔法先生」、手塚治虫のアニメ「不思議なメルモ」の放映が始まり、色気づきつつある我々の好奇心をいやがうえにも刺激してくれたものであった。

No.	タイトル	歌手
71-1-1	わたしの城下町	小柳ルミ子
71-1-2	知床旅情	加藤登紀子
71-1-3	また逢う日まで	尾崎紀世彦
71-1-4	花嫁	はしだのりひこクライマックス
71-1-5	さらば恋人	堺正章
71-1-6	17才	南沙織
71-1-7	京都慕情	渚ゆう子
71-1-8	雨の御堂筋	欧陽菲菲
71-1-9	砂漠のような東京で	いしだあゆみ
71-1-10	雨がやんだら	朝丘雪路
71-1-11	昨日・今日・明日	井上順
71-1-12	女の意地	西田佐知子
71-1-13	空に太陽がある限り	にしきのあきら
71-1-14	真夏の出来事	平山三紀
71-1-15	さいはて慕情	渚ゆう子
71-2-1	あの素晴しい愛をもう一度	加藤和彦と北山修
71-2-2	生きがい	由紀さおり
71-2-3	さんげの値打ちもない	北原ミレイ
71-2-4	戦争を知らない子供たち	シロース
71-2-5	夏の誘惑	フォーリーブス
71-2-6	ふたりだけの旅	はしだのりひこクライマックス
71-2-7	翼をください	赤い鳥
71-2-8	別れたあとで	ちあきなおみ
71-2-9	潮風のマロディー	南沙織
71-2-10	誰もいない海	トワ・エ・モア
71-2-11	熱い涙	にしきのあきら
71-2-12	青いリンゴ	野口五郎
71-2-13	月光仮面	モッツ
71-2-14	中途半端はやめて	奥村チヨ
71-2-15	水色の恋	天地真理

表2

してみたい。「17才(南沙織)」。いかがでしょうか。

いつもながら作曲の筒美京平先生の仕事の確かさは言うまでもないことだが、この曲に関するかぎり、とりわけ我々にインパクトを与えたのは有馬三恵子氏の詞の世界であった。

何しろ舞臺設定が「誰もいない海」である。二人以外にはまわりにも誰もいない、しかも開放的な気分を誘わずにはおかない「海」に二人はやってきているのだ。色気づき始めた一〇歳は「ムムム、二人つきり!」などどワケ

えることつすから、そんなカゲキな映像じゃないですよ、念のため。

また、この曲を成功させたもうひとつの要因として、そのタイトルの方々があげられるだろう。「16才」ではちよっと子供っぽい。「18才」では、初々しさが足りない。その中間の微妙なところをついた「17才」、何となくキラキラ輝くような、甘酸っぱいようなイメージがあるではないか。しかも、「17才」というこの

字面を用いることによって、現代的でポップなイメージを求めていた当時の若者の支持を集めることに成功している。

たとえこれが「17歳」だったら、吹雪の中で津軽海峡を眺める和服姿の二人、みたいな設定にせざるをえなかつたところだ。歌詞の中に一度も出てこない言葉で、なおかつ全体をすっきりとまとめたあげたこの「17才」というタイトル、じつにみなことな仕事であった。

この曲のタイトルを、一般的な例にならって、歌詞の中から拾っ

てつけるとしたらどうだろう。「誰もいない海」、うーん、ちょっと夏のはじけた感じがしないよなあ。「腕をすり抜けて」、なんか逃亡する犯人みただな、これじゃ、「早く強くつかまえて来て!」、別の意味でのお色気路線か?。「私は今生きている」; ダメだ、こりや。というわけで、17才は「17才」だったからこそよかったのであった。

この年、南沙織は「17才」で日本レコード大賞新人賞を受賞した。この受賞は、私の知る範囲において、日本歌謡界のある意味でのターニング・ポイントになったのではないかと思われる。

推測の域を出ないが、おそらくは「こんなもん」に新人賞はやれんレコード大賞の権威にかかわると、新人賞選考にあたって「17才」の受賞に眉をひそめた選考委員も多かったのではなからうか。その証拠に、結局、この年の最優秀新人賞は、日本の伝統的歌謡曲路線を守った小柳ルミ子の「私の城下町」に持っていかれてしまった。しかし、ここで芽生えた「若者の

若者による若者のための歌謡曲」の風は、のちに歌謡界を席卷するアイドル歌謡の下地として十分な力を持っていたのである。うらむ、「17才」あなどりがたし。

さて、レコード太賞の話題が出てしまつては、この年のこの一曲を避けて通るわけにはいきまい。つてことで、一九七一年、続いての一曲は、「また逢う日まで」尾崎紀世彦」。

パッパッパパーパッパッ、ドンとあのイントロが流れてきただけで、なんかこう「フアイトいつぱー」みたいな気分になるのは私だけではないだろう。さらに歌うは尾崎紀世彦。あの声量で、あの風貌で歌いあげられた日にや、もう「へへー、私が悪うございまして」と恐れ入る以外にない。でもこの曲、別れの歌なんだよなあ、よく考えると。

まで」。イントロの派手派手ホー

ン・セクションに始まり、エンディングの「パッパパー」というコーラスのお姉さんの声まで、どこもかしこも景気がいい。この曲を聴き終わつたあと、「悲しくて悲しくて涙が出ちゃいましたなんてえやつはまずいんじゃないろう。たぶん、ほとんどの人が抱くであろう感想はただひとつ、「明るい明日が待っている」。

いまだかつて、これほどまでに明るい別れの歌があつたのだろうか。「また逢う日まで」こそ、日本一（いや、ひよつとしたら世界一）ポジティブな別れの歌といつても過言ではない。作曲の筒美京平先生、あなたはえらいっ！うひゃー、たつた五曲選んだだけで、こんなに長々講釈をたれてしまった。先は長いぞー。急いで次いましてよ。

一九七一年のラインナップを眺めてみると、このあたりからぼちぼちメジャー路線のフォーク系が台頭しつつあるようだ。というわけで、そんななかの一曲から「花嫁（はしだのりひ）ことクライ

マックス」。

いいよねえ、「花嫁」。イントロ聴いてるだけで、なんかほのぼのしてくる曲だなあ。「花嫁は夜汽車に乗って嫁いで行くの」、ふーむ、夜汽車か；、これが「寝台車」じゃちよつとしまらないもんね。でも、夜汽車つてあるのかな、鉄道マニアの方、教えて。

しかしまあそれはともかくとして、たつた一人の夜汽車での嫁入りは、なんとなく暗いといえは暗いシチュエーションではある。状況的に「カバンひとつで夜汽車。つてことになれば、まず、駆け落ち、あるいは「夜逃げ」と相場が決まつているものだ。つまり、この場合の嫁入りは、それに近いものだったわけだ。うらむ、がんばれ、花嫁さん。「♪あの人の写真を胸に海辺の町へ」、なるほど、彼は漁師なのだろうか。海辺の寒

村で一人小船を操つて漁を続けてきた男。家には年老いた母が一人。そこに突然転がり込む、カバンひとつ持った花嫁、やがて勃発する嫁姑の対立、母と息子の断絶、家庭崩壊；、うわあ、なんだかど

んどん暗いほうにいつちやうぞー。負けるな、花嫁さん。というわけで歌詞内容を細かく見ていくと、ほのぼのしてる場合じゃない状況が浮き彫りになってきたのであった。

「花嫁」は、かつて結婚式でよく歌われた曲ぞうだ。誰かがギターを弾いて、会社の仲間全員でお祝いの合唱、なんてパターンがきつと多かつたことだろう。たしかに、この曲調自体はそんな状況に実にマッチして、盛り上がりそうである。

しかし、この曲を歌うにあたっては、ひとつ大きな落とし穴があることを忘れてはならない。すなわち「花嫁」は、忠実にオリジナル・キーで（つまりレコードと同じ音の高さで）歌おうと思つと、とんでもなく歌いにくい歌だといふことだ。

理由は二つある。まず、はしだのりひことクライマックスの女性ボーカル（名前、知らない）の音域が女性にしてはかなり低いことだ。したがって、歌い出しの

海辺の町へ」までは、一般の女性では音程が低すぎて歌えないか、歌えても張りのないスカスカな歌になってしまつたろう。

もう一つは、はしだのりひこの音域が男性にしては異常に高いことだ。サビの一番盛り上がるところが彼のリード・ボーカルとなつてはいるが、この音域は、一般の男性ではまず出すことのできない高さである。裏声を使えば何とかなるだろうけれど、「花嫁」のサビを裏声で歌つたんじゃあ盛り下がること必至。この問題を解消する手段はただ一つ、オリジナルの女性ボーカルの部分を男性が、はしだのりひこのボーカル部分を女性が歌うことである。そのため、必ず男女混合チームを組織しなければならない。

というところで、男性だけ、あるいは女性だけのグループで「花嫁」を歌う場合は、くれぐれもオリジナル・キーを避けるよう、注意いただきたい。なお、ウケを狙いたい場合には（男性に限るが）、オリジナル・キーで高らかに歌い出し（がんばれば、男性でも女性

ボーカルと同じ音域で充分歌えます。オクターブ下げることなくサビに突入し、はしだのりひこと同じ音域でシャウトする、というてがある。五、六人の男たちが喉かきむしってのた打ち回りながら絶叫するさまは、けっこうウケるのではないだろうか。言っとくけど、絶対に裏声で逃げちゃダメよ。

個人の名前を冠したグループを、はしだのりひこほどたくさん持っている人はいないかもしれない(はしだのりひこ○○○○つーやつね)。はしだのりひことエンドレス、はしだのりひことシュールベツ、はしだのりひことクライマックス;、またほかにもあったっけ?。なんだか小さい会社立ち上げちゃあつづがしてベンチャー企業の社長みたいだなあ。一度ギネスブックに申請してみてはどうだろう。

このほかにも、ザ・フォーク・クルセダーズに在籍し、ジローズにもいたんだっただ。そしてそのほとんどのグループで、人々の記憶に残る業績をあげてきたはし

だのりひこ。そんな彼も、いまや「子育て評論家」として講演活動に忙しいと聞く。人生いろいろ、人の運命とはわからないもんである。

さて次は、ついでと言っちゃあなんだが、フォーク系からもう一曲いってみよう。「あの素晴らしい愛をもう一度(加藤和彦と北山修)」。

つい最近、「ザ・フォーク・クルセダーズ」期間限定再結成とかで、三人で歌ってる姿を衛星放送で見た。加藤和彦、北山修、そしてなぜかアルフィーの坂崎幸之助が加わっての再結成だそう。加藤和彦も年取ったよなあ、当たり前か。ザーつと、ちよつとニヤけたオシヤレ系ヤサ男、ってイメージを持ってただけだけど、久々にテレビで見たら、なんだか「好奇心」に近い感じにかわって

いてびびくりした。北山修に関しては、もともと何の印象も持てなかった(というか、顔知らない)ので、老けたんだかわわってないんだかさっぱりわからなかったけど。発禁になってた「イムジン

河」もリリースして、新生ザ・フォーク・クルセダーズ周辺はあわただしいことになってるなあ、と思っていたら二〇〇二年の年末に解散してしまった。ほんとにあわたらしいグループである。

表2のとおり、「あの素晴らしい愛をもう一度」を歌っていたのは、加藤和彦と北山修。当時ならば二人でザ・フォーク・クルセダーズを再結成しました、でもよかつたんでないの?と思ったりするわけだが、あえてユニットとしての形にこだわったということだろうか。すなわちこれは、モーニング娘におけるミニモニのような存在といえるかもしれない。そのあたりをとってみても、音楽性のみならず、いろいろな意味で、先見の明を持っていたグループ「と見ることができてる

では、「あの素晴らしい愛をもう一度」を音楽的な側面から検証してみよう。

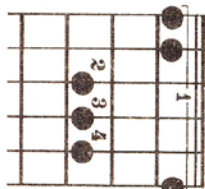
昭和四十年代にギターを手にしたのなら誰でもか、まず例外なく一度はチャレンジする曲。そ

れが「あの素晴らしい愛をもう一度」だ。なにしろイントロからしてカッコいいじゃないの。「こんなん弾けたらいいなあ」と、つい聞き入ってしまう、秀逸なアレンジが施されている。個人的には

いまだ完全には音的な構成を解明しきってないけど、たぶんギター三台くらいのオーバードビングだろうと思う。そんなわけで、初心者には少し敷居が高いため、この曲に対する通常のパターンとしては、「ま、イントロは後回しっつーことにして、とりあえず歌い出しのところから弾いてみつかないでな」ことになるのが一般的だ。ところが、コード譜に目をやったら、これまた誰もが「なぬ?」と、声にならない声をあげる事態が発生するのである。

なんと、この曲のオリジナル・キーはB \flat なのであった。それだけは勘弁してほしかったB \flat 。せめてFくらいにマケちゃあもらえまいか、できたらCにしてくればありがたいのに。ギター弾かない人にはぜんぜん何のこ

らわからないかと思うが、「あの素晴らしい愛をもう一度」には、ギターを手にした青少年にとって(とくに初心者には、そんなふうな困った裏事情が存在するのである(図))。



ほかにも押え方あるけど、「明星」の歌本に載ってたのはこれだった。

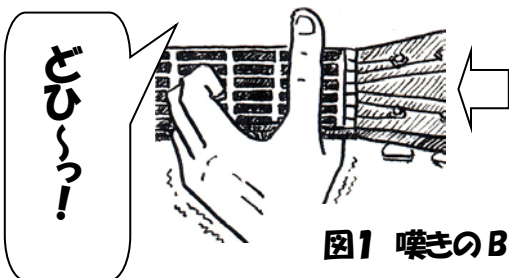


図1 嘆きのB \flat

なぜオリジナル・キーをB \flat に

しなければならなかったのか。それは、三コーラス目の転調で、キーをCにもつていきたかったからだろう。Cで始めてDに転調するパターンが、初心者向けには最も簡単なコード展開なのだが、あえてそうしなかったのは、転調後のキーをDにもつていった場合、

加藤和彦の音域ではちよつと苦しかったからだ(と思う)。前述のはしだのりひこあたりがこの曲に一枚かんでいたなら、Dで始めてEに転調というような、もつほとんど誰も歌えないキー設定になっていたかもしれない。それを考えれば、加藤和彦の音域が普通の人と変わらない音域であつたおかげで、「あの素晴らしい愛をもう一度」は誰もが口ずさめる若者たちの愛唱歌として大いなる支持を受けることができたのである。めでたしめでたしではあつたものの、その代償としてのオリジナル・キーB^b。なんとなく* 痛し痒し。みたいな感じがしないでもない。

さて一九七一年、この年、それからの数年を嵐のように駆け抜

けることになるスーパー・アイドルが登場した。私の記憶の範囲では、まさに「アイドル」の名に恥じない、元祖アイドルである。ということ、次の曲はこれだつ、「水色の恋(天地真理)」。

天地真理が晩年あんなことになるうとは(どんなことだろう)、当時誰も想像すらできなかっただろう。聞いたところでは、つい最近、あるテレビ番組に出演してたらしいが、ますますすごいことになっていったとか。だつてねえ、* 白雪姫、つて呼ばれてたんだよ。当時は、人生の荒波というもの、時として人を変貌させてしまうものなのだなあ、まさかあんなことになつちやうなんてなあ…(だから、どんなことだ?つちゅーの)。まあいい。現時点というやつはいつだつて殺伐として見えるものなのである。ここ(ひとつ)つ時を遡り、あのころの天地真理について考察を廻らせてみよう。

なぜあれほどまでに、彼女は爆発的な人気を勝ち得たのであろうか。私が思うに、その理由はただひとつ、何をさておいても優

れたブレンがバックについていたこと、これに尽きる。ブレンは、まず天地真理のイメージを世間に浸透させるところから手を染めた。最近では珍しくもなくなつたが、まずドラマで顔を売り、イメージがよく行き渡つたところでおもむろに歌手デビューさせる。これだけで、アイドル売出し大作戦は8割がた成功したも同然である。あとは優れたブレンによる優れた楽曲を何曲か用意できれば、9割がた成功だ。最後のポイント、本人の歌の技量、幸いにして天地真理は、そこそこ歌の技量に恵まれていた。「天地真理は歌がヘタだつた」という風評も一部にはあるようだが、少なくとも彼女が第一線のアイドルとして活躍していた

当時に限つて言えば、驚くほどうまくはないけれど、決して「ヘタ部門」に属する歌手でもなかつたと思う。うそだと思つたら、「水色の恋」を自分で歌つて「こんなさい、けつこう手強いから。もしも天地真理が「ヘタだつた」と評される原因があるとすれば、その声、あるいは発声法によるところが大きかつたのではないだろうか。あの、地声とも裏声ともつかない、鼻の奥でモワモワと反響する、湯気で曇つた風呂場の窓みたいな(そこまで言うか?)歌い方。現在三十五歳以上の方なら誰もが、きつと一度はマネしてみたことがあるだろう。いや、やつたことがなかつたとしても、自尊心さえかなぐり捨てる覚悟があれば、あなたにだつて今すぐになれるはずだ。どうです、やつて「こんなさい。ほらほら、できたでしょ。当時は素人のみならずプロも、物まね番組となればこそつて天地真理を取り上げたものだった。その中でも、とりわけ印象深かつたのは、森昌子だ。物まね名人として誉れの高かつた森昌子。奇をてらうでもなく、過剰なデフォルメに走るでもない、彼女の天地真理の物まねは、今思い返しても明らかに他と一線を画するものがあった。* 森昌子論をぶち始めると本筋から外れてしまうのでこのへんでやめておくが、おそ

らく森昌子という人は、天地真理の(あるいは彼女が真似るすべての歌手たちの)歌唱力を正しく評価する能力に優れていた、すなわち「聴く耳を持つていた歌手」だつたということだろう。

ともかくも、天地真理の成功によつて、それからしばらくの間、彼女と同様のパターンのアイドル・デビュー作戦が、「二匹目のドジョウ」を狙つて仕組まれることになつたのであつた。その中には、我々の記憶に残る程度の成功を収めた者もいないではない。ただ、いずれも、* 歌手、という範疇においては長続きしなかつた。

なぜならば、彼女たちは、はなはだしく歌の技量に恵まれていなかったからである(それが売りになつていた歌手さえ存在していたのだから)。この事実からも、天地真理の「歌ヘタだつた説」は、否定的であると論証することができるであらう。

栄枯盛衰、盛者必衰。人生楽ありや苦もあるさ、ああ人生に涙あり。それにしても、まさかあんなことになつちやうとはなあ…(だ

からどんなことなんだー?!

さて、以上五曲をもって、ひとまず一九七一年については締めとしたい。波乱万丈の一九七一年先にもちよつと述べたとおり、この年あたりからフォーク系が徐々に頭角を現しはじめ、アングラからメジャーへ、そして次の年七二年のあのカリスマ的フォークシンガーの登場へとつながっていくことになる。つまり、フォークで飯が食える時代が到来するわけである(図2)。



図2 フォークで飯を食う

とはいえこの時期 依然と日本音楽界の主流は歌謡曲であり、シンガー・ソングライターが全盛期を迎えるには、今しばらくの時間を要するのであった。

ここで合計八曲。ひえー、またたつた八曲だよ。こりゃ、

三森の一九七一年

この年のラインナップ(表3)を眺めて最初に気づくのは、全体的にやや小粒な印象があるということだろう。宮史郎とびんからトリオの「女の道」みたいな、バカ当たりした曲もあるにはあるが、その他はおしなべてスマッシュ・ヒット程度にとどまっている。もうひとつ、「望郷 暮情 エレジー」といった、なんとなく哀愁漂う、タイトル曲が多いのもこの年の特徴といえるだろう。

そんな雰囲気代表するようなこの一曲から、一九七一年を始めてみよう。「喝采(ちあきなおみ)」。言わずと知れた、この年のレコード大賞受賞曲。ほら、ほら、頭の中にあのイントロが流れてきたでしょう(でも、最近はどうも誰も使わなくなったよなあ、エレキギターのトレモロ奏法)。確

か、「喝采」の歌詞内容は、実話をもとにしたものであったと記憶している。だからこそ、歌っているほうも他の楽曲以上に感情移入できたし、また聴く側にとっても、どこか胸に迫ってくるものがあり、そんな相乗効果の結果がレコード大賞受賞へとつながっていったのだろう。今思い出して

みても、「喝采」を歌っているちあきなおみの周囲には、ある種の異空間が広がっていたような、そんな印象が強い。もはや「喝采」は、ちあきなおみ以外には誰も歌えない曲である。おそらく誰かカバーしても失敗するであろう。

歌手・ちあきなおみをどのジャンルの歌手と分類するか、これは意見の分かれるところである。表舞台から姿を隠す直前あたりの楽曲の傾向からすれば「演歌歌手」と位置づける方もおられよう。また、一九七〇年代の楽曲からみれば、「歌謡曲歌手」以外の何者でもない。いずれにしても私は、彼女が「アーティスト」としてもっと高く評価されてもよいのではないかという思いを以前から

No.	タイトル	歌手
72-1-1	女の道	宮史郎とびんからトリオ
72-1-2	瀬戸の花嫁	小柳ルミ子
72-1-3	さよならをするために	ビリー・バンバン
72-1-4	旅の宿	よしだたくろう
72-1-5	ひとりじゃないの	天地真理
72-1-6	喝采	ちあきなおみ
72-1-7	小さな恋	天地真理
72-1-8	太陽がくれた季節	青い三角定規
72-1-9	悪魔がこくい	平田隆夫とセルスターズ
72-1-10	夜明けの停車場	石橋正次
72-1-11	だれかが風の中で	上條恒彦
72-1-12	結婚しようよ	よしだたくろう
72-1-13	愛する人はひとり	尾崎紀世彦
72-1-14	サルビアの花	もとまろ
72-1-15	虹と雪のバラード	トワ・エ・モア
72-2-1	終着駅	奥村チヨ
72-2-2	夜汽車	歌陽菲菲
72-2-3	純潔	南沙織
72-2-4	せんせい	森昌子
72-2-5	雨のエアポート	歌陽菲菲
72-2-6	男の子女の子	郷ひろみ
72-2-7	誰も知らない	伊東ゆかり
72-2-8	どうにもとまらない	山本リンダ
72-2-9	別れてよかった	小川和子
72-2-10	耳をすましてごらん	本田路津子
72-2-11	出発の歌	上條恒彦
72-2-12	望郷子守唄	高倉健
72-2-13	長崎暮情	渚ゆう子
72-2-14	哀愁のページ	南沙織
72-2-15	赤色エレジー	あがた森魚

表3

抱えていた。

ちあきなおみのオリジナリティーはきわめて高い。間違いない、その高さは群を抜いている。歌謡曲のジャンルで言えば、美空ひばりに匹敵するといっても過言ではないと私は考える。おぼろげな記憶ではあるが、確か「主人の逝去後、喪に服する」ということで現在まで姿を見せることなく、ほとんど引退同然の状態が続いていたのではなかったか。つい最近

たまたま耳にしたあるラジオ番組で、中村泰士氏(作曲家・「喝采」は彼の作品)が語っていたところによると、「おそらく彼女が再び表舞台に登場することはない

いだろう」とのこと。日本の音楽界は、まことに惜しい人材を失ってしまった。ああ、なおみ、なおみ、カムバック、トワ、ミー(By ヘドバとダビデ)。ううう、古すぎるう...

さて、続いては、前述一九七一年のおしまいのところで「七一年のあのカリスマ的フォークシンガーの登場」と前振りしてしまっただろう、「結婚しようよ(よしだたかくろ)」、いつてみましようか。とはいえるものの、じつは個人的にあまり思い入れ、ないんだよねえ、よしだたかくろに...。ひとつには、私がいわゆるたかくろ世代」とは、「三年すれている年代

だからだろう。もつひとつは、あの・たぐろう節」と言われる、一小節の中に言葉が「どどどど」とまとめて詰め込む歌い方(というか曲の作り方、たとえば最近の作品でいうと Kinki Kids の「全部抱きしめて」の前半部分みたいなのにどうもなじめないものを感じているからである。「いや、あれがいいんだよ、あれが無くてちやあたくろうじやないよ。つてやんでい、べらぼうめい」と江戸っ子のたぐろうファンから叱られるぞうだが、こればかりはもう趣味の問題なんで、どうしようもないのである。

しかしまあ、たぐろうなくしてその後のフォーク・ブームはなかったのだろうし、日本の音楽界に変革をもたらす礎となったひとりとして、その功績はまことに大であります。よつてここに、その榮譽をたたえ個人的に表彰させていただきますましょよ。

「結婚しようよ」、いい曲だと思ひます。「旅の宿」「夏休み」「落陽」などといった有名どころは一応私も知ってます。キャンディー

ズに提供した二連の曲、梓みちよが歌つたあの曲、山田パンダの「風の街」など、ちよつと思ひ返してみただけでも、コンポーザー・吉田拓郎の作品にはいいものがたくさんあります。吉田拓郎すこいなあとおもうんですよ、実際でも、あんまり思ひ入れないのよ、ほんと。ファンの方、ごめんね。

長々書き綴つてまいりました「超個人的音楽論」もいよいよ大詰め、なんとか締めの一曲までたどり着きました(ふうふう……)。

さて、トリはこの曲だ、「虹と雪のパラード」(トワ・エ・モア)。

札幌オリエンティックのテーマ曲として有名な「虹と雪のパラード」。いい曲ですねえ、この曲。何をかくそう、今回の大講釈のネタである「青春歌年鑑」になぜ私が注目したのかといへば、そのライナップの中に、「虹と雪のパラード」を見つけたからなのでした。好きなよ、私、この曲。

つい最近聞いたところでは、この曲の作詞をした河邨文一郎(かわむらぶんいちろう)という人

歌の詞を専門にしているいわゆる作詞家ではなくて、詩人なんだつてね。どつりで虹と雪のパラードの歌詞の言葉ひとつひとつに、一種凄みを持ったキレがあるわけだ。著作権の関係でここには歌詞を掲載しないが、インターネットなどで簡単に見る事ができるのでぜひ一度ご覧いただきたい。単純に詩として眺めても、「うむ」と唸らされる仕上がり作品である。ついでに、歌とは関係ないが、河邨文一郎氏、もともと医師で、札幌医大の教授だったぞうだ。

この詩があつて、村井邦彦氏のあの曲があつて、歌唱が実力派トワ・エ・モアとくれば、こりやいものができるとは思はず、どんな。誰だか知らないが(きつと名のある方だと思つた)、この企画の仕掛け人の方、おみそれいたしました。

一九七二年は、びんからトリオをはじめとした、おじさんチーム、天地真理、南沙織からなる「アイドルチーム」、よじだたくろうを筆頭とする「フォーク

チーム」などが乱立する、日本の音楽シーンの過渡期と捉えることができるかもしれない。日テレのスター誕生から森昌子がデビューし、アイドル全盛時代へと拍車がかかり始めたのも、ちよつとこの時期からのごとであつた。

以上十一曲をもつて、青春歌年鑑・七〇年代超個人的ベスト四〇「パート」としたい(表4)。

No.	タイトル	歌手
1	手紙	由紀さおり
2	白い色は恋人の色	ベッツィ&クリス
3	もう恋なのか	にしきのあきら
4	17才	南沙織
5	また逢う日まで	尾崎紀世彦
6	花嫁	はしだのりひこことクライマックス
7	あの素晴らしい愛をもう一度	加藤和彦と北山修
8	水色の恋	天地真理
9	囃采	ちあきなおみ
10	結婚しようよ	よしだたくろう
11	虹と雪のパラード	トワ・エ・モア

表4 70年代超個人的ベスト11/40

このベースでいくと、青春歌年鑑・七〇年代超個人的ベスト四〇が完結するまでにあと三年はかかる見込みである。ま、気長にお付き合ひいただきたい。(つづく)

編集◆後◆記

もうダメかと思われていた会報の発行が、なんと今年度内に収まり、編集担当としては胸をなでおろしているところですよ。いつもながらの読み応えある原稿を早々と寄せてくださった連載執筆者の方々をはじめ、原稿をいただいた全ての皆様にご心より御礼を申し上げます。

今回初めて、全てのページをコンピュータ内で製作してみました。おそらくコンピュータ・ワンダーランドの小林氏あたりからすればなんとも歯がゆい仕上がりだと思ひますが、素人なりに試行錯誤しながら何とか強引に押し込んでおります。これまで、ワープロの、あるいはコンピュータの「匂い」みたいなものが嫌で、切り貼り版下派を通してききましたが、今回の試み、いかがでしょうか。ご意見をお聞かせください。

発行 岡山細胞検査士会
発行日 平成十六年三月二〇日

大好評！ 大河子育てマンガ！！ 11年目に突入だ〜っ！！！！

Twins

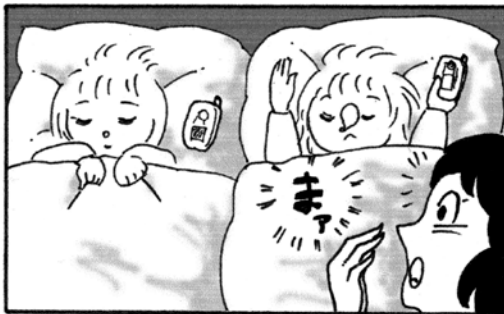
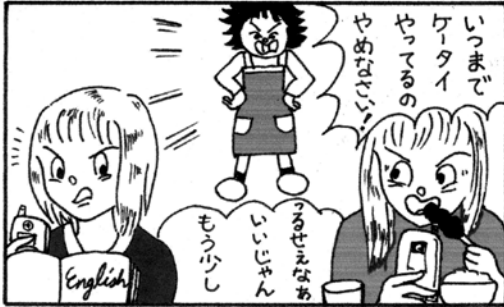


wai wai
Land



作・小原 明子

◆ケータイ人生・天国と地獄



◆三連休が終わったら…



●女子高生…この言葉には、一種独特の響きがあります。我が家のふたごたちも高一になり、例にもれず、しっかり女子高生しています。